



第523号 令和4年2月1日
発行所 京都市学校医会
京都市中京区間之町通竹屋町下ル
楠町601-1 こどもみらい館2階
TEL (075) 256-0351
FAX (075) 241-3568
発行人 杉本英造

新型コロナウイルス感染症 第6波 まん延防止等重点措置発令

会長 杉本英造

残念ながら感染症は猛威を振るい、会員の皆様におかれましては、日々の診療・ワクチン接種等、大変な状況にあることとお察しします。京都市では3学期開始後、1月6日～23日までに小中学校の学級閉鎖は393学級（163校 393/4002学級 9.8%）確認されていますが、その数は日に日に増加の一途です。

＜学級閉鎖等について＞ 市教委からの報告

- 感染可能期間に登校のある児童生徒が一人でも確認された場合、当該児童生徒等の最終登校日の翌日から5日間（土日を含む）を学級閉鎖と致します。（ただし、感染者が確認された時点で、最終登校日から5日経過していた場合も、疫学調査の実施や健康観察の徹底等のため、数日学級閉鎖を行います。）
- 疫学調査の結果、新たな感染者や濃厚接触者がなく、体調不良者の広がりも抑制されている場合は、学級閉鎖期間の短縮も可能といたします（感染者との最終接触日からの経過日数等を踏まえ判断致します）。
- 学級や学校内等で新たな感染者や体調不良者の広がりが確認される場合、6日目以降の学級閉鎖等の継続を検討いたします。
- 学級全体等への集団PCR検査は、複数の学級・学年、教職員で感染者が確認される等、校内での感染拡大が懸念される場合に限定して実施いたします。
- 学級再開後2日間は、感染症対策を一層徹底した教育活動（注意就業）を行います。
4月からの健診をどのように催行していくか、今後の感染状況とその取扱いおよび文科省からの通達を参考にして検討していく予定です。
学校へ配布した抗原簡易キットの医療機関等での

活用について

1月27日 文部科学省 初等中等教育局：複数の自治体から国が学校に対して配布したキットを医療機関等に渡すことができるかの問い合わせあり、厚労省から各学校で適切な管理がなされていることを確認した上で医療機関等の求めに応じて譲って構わない連絡がありました。しかしエッセンシャルワーカーに対する特例 濃厚接触者の自宅待機につき、抗原検査で4日目および5日目の2回の検査で陰性を確認したら5日目から解除可能（費用負担：事業者 自費）通達もあり、京都市立学校の教職員については、学校園長等が学校園の運営上必要と認める教職員に限り、エッセンシャルワーカーと同様に取り扱うことになり、学校教員の濃厚接触者が増加しており、学校配布されたものを教員自身で使用し復職に役立てる方向です。従って医療機関へ譲渡は困難と思われます。またキットの使用期限が2021.6、7月のものが一部配布されているようですが、文科省が令和4年3月および4月まで使用を許可しています。（医療者としては違和感ありますが）

12月 中京東支部長の俵 良裕先生がご逝去されました。先生は歌舞伎に造詣が深く、「歌舞伎歳時記～ちょっと芝居を楽しみませんか～」著書もあり、昨年为学校医会総会で講演をお願いしていましたが、コロナ感染症問題で中止としたことが惜しまれてなりません。学校医会活動にご尽力いただいたことへ感謝とともにご冥福をお祈りします。

京都市小学校「大文字駅伝大会」代替大会（2月6日）も中止になり、令和2年の大文字駅伝大会以後、競技会はなにも開催されていない状況です。「子どもの連帯感やこころのはぐくみ」に様々な競技大会は大事と思われ残念です。感染症の終息を願うばかりです。

令和3年度 第52回全国学校保健学校医大会 シンポジウム【コロナ】

テーマ「コロナや災害から子どもを守る医療」

西京高等学校医 杉本英造

「コロナと共に生きる子ども達～小児心身医学の視点から～」

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科小児医科学
准教授 岡田あゆみ

ストレッサーには「物理化学的」「生理的(病気)」「心理・社会的(対人・勉強・仕事)」の3つがあり、くり返すのか、対処方法があるのか、相談できる人がいるのかで影響は変わる。新型コロナウイルス感染は見通しが持ちにくく、「コントロールできない」と思うと不安になる。症状の発生に社会：環境、家庭や学校の状況～家族・友人・先生との関係、心理：性格や認知特性・知的能力・症状の捉え方や付き合い方が影響する。昨年3月からの経過を追った。

2020.3月：起立性調整障害・学習症の子は「休校で皆が休みだと気が楽」という意見もあったが、「大量の課題が出て、最初はラッキーと思ったけど友達と会えなくなり学校があったほうがよかった」4～5月：自閉症スペクトラム児「オンライン授業は(音過敏)騒がしくないのでもよくわかる」「朝ゆっくり寝るので、私の時代が来た」と学校との距離をとれることに喜んでいて、家庭の収入減や家族と過ごす時間の増加が緊張を増加させた。6～12月：学校再開したが行事の中止、夏休み短縮と授業の延長で疲労蓄積と休校中にゲーム依存になり昼夜逆転し登校できない。体重増加し肥満になり易疲労。2021.1～3月：回避制限性食物摂取症～給食中会話禁にて食べられない。神経性やせ症の発症。4月以降：大学に進学してもオンライン授業で友達もできず下宿引きこもり。感染対策の授業受けてから何度も手洗いする強迫性障害など長期にわたる制限で適応できず問題が顕性化。

負の影響を受けやすいグループ：発達課題のある児、急性・慢性疾患児、女性・若者、低教育歴・低所得家庭、精神疾患の保護者、ひとり親家庭。

Stay homeにより：運動量の低下、インターネットの視聴時間増加、ゲーム使用増加、飲酒の増加と

睡眠時間低下、食事バランス偏り、経済困窮、保護者の育児ストレス増加。

精神面の悪化防止・回復因子：家族とのよい関係、生活リズムの維持、適度な運動、インターネット・ゲームの使用ルール、経済的安定、育児の両親・家族協力。

子どものストレス・身体症状を早期発見・早期対応し、育児相談、生活指導、身体症状への対処、家庭や学校との連携がコロナ対応に大事。学校・病院はメンタルヘルスのゲートキーパーの役割を担っている。

「新型コロナウイルス感染症やその他の災害の子どもへの影響」

岡山大学学術研究院医歯薬学域疫学・衛生学分野
教授 頼藤 貴志

災害が子どもに与える影響は、大人と異なり災害時・災害後の子どもへの独特のニーズを知る必要がある。肺炎やインフルエンザなどの呼吸器疾患、飛沫・接触。空気感染症が減少した半面、自傷行為・不登校・自殺の増加、過体重・肥満の増加が報告されている。

第1分科会 からだ・こころ1

- 1 地域開業小児科でのBPS(Bio-Psycho-Social)モデルを考えた簡易型思春期面接の試み
〔埼玉県医師会〕
- 2 学校メンタルヘルス事業による自殺予防一希死念慮をもつ生徒への介入と効果―〔三重県医師会〕
- 3 「学校で性暴力被害が起こったら～被害・加害児童生徒が同じ学校に在籍する場合の危機対応手引き～」活用について
〔兵庫県医師会〕
- 4 岡山市小児慢性特定疾病児童等相互交流支援の取り組み
〔認定NPO法人ポケットサポート〕
- 5 起立性調節障害対応ガイドライン作成の取組について ―教育と医療の連携による実践報告―
〔岡山県医師会〕
- 6 COVID-19感染拡大時における徳島県内の学校健診及び健康管理システムへの影響
〔徳島県医師会〕

- | | |
|---|--|
| <p>7 コロナ禍の学校健康診断 ～令和2年度川崎市学校医アンケート調査から見てきたこと～
〔神奈川県医師会〕</p> <p>8 子どもたちとともにパンデミックを乗り切る
ー新型コロナに対峙する学校精神保健ー
〔東京都医師会〕</p> <p>9 児童生徒を対象とした新型コロナウイルス感染症の健康教育用教材の紹介
〔東京都医師会〕</p> <p>10 学童期の肛門疾患について
〔熊本県医師会〕</p> | <p>4 学校医の聴診の意義を考える
〔岐阜県医師会〕</p> <p>5 岡山県検尿マニュアルー適正な学校検尿・3歳児検尿のためにー、の作成と振り返り
〔岡山県医師会〕</p> <p>6 愛媛県医師会学校検尿対策委員会の活動と課題
〔愛媛県医師会〕</p> <p>7 アンケート調査による大阪市立学校における成長曲線・肥満度曲線の活用状況
〔大阪府医師会〕</p> <p>8 広島県における食物アレルギー対応の現状と課題
(県、県医師会、県小児科医会の取り組みを中心に)
〔広島県医師会〕</p> <p>9 小中学校における喫煙防止教育の効果
〔山口県医師会〕</p> <p>10 成人式アンケート調査からみた小・中学生に対する喫煙防止出前授業
〔和歌山県医師会〕</p> |
|---|--|

第2分科会 からだ・こころ2

令和3年度 第52回全国学校保健学校医大会 in 岡山

基調講演「感染症とワクチン～新型コロナウイルスを経験して」視聴報告

太秦小学校医 井本 雅美

上記タイトルで、川崎医科大学小児科学、中野貴司教授が講演されました。7月から8月ピークの患者数が急激に減速し、第5波が収束しつつあり、日本におけるワクチン接種率1回目目8割、2回目7割を超えてきた時期の講演です(2021年10月30日)。

- 1) 当初その理由は確定していないものの、子供の患者数は非常に少なく、重症化する頻度も低いと考えられていたが、感染力の強い変異株の出現により、子どもも多く感染するようになり、保育園や学校でのクラスター、家庭内感染が数多く報告されるようになった。小児でも基礎疾患があると重症化しやすく、また小児多系統炎症性症候群(MIS-C)という重篤な病態を引き起こすことがあり特に注意が必要。
- 2) 流行期における一斉休校は、子どもの心身の健康に大きな影響を与えた。国民の教育を受ける権利を守るの方が大切。コロナ禍の学校生活、保育において必要なことは、①感染症対策(手洗い咳エチケット)、③密回避 ②定期

- ④患者に対する差別、偏見、いじめ厳禁、である。
- 3) ワクチンについて
 - ①効果の持続、感染防御の効果、発病予防、集団免疫効果などは、変異株の出現によって変わっていく
 - ②抗体価は免疫を示す1つの指標であり免疫のすべてを表すものではない
 - ③初回未接種者への接種機会の提供を継続するとともに、2回目接種完了者すべてに対して追加接種の機会を提供する方向
 - ④3回目の追加接種については、現時点では2回目接種の概ね8ヶ月後、交差接種を認める
 - ⑤安全性については、第三層臨床試験で、重篤な有害事象の発症頻度は、ファイザーもモデルナも対照群と差がなかった(ただし、10万人に1人起こるような稀な副反応についてはわからない)
 - ⑥重篤な症状を引き起こす稀な副反応
 - ・m-RNAワクチン(ファイザー、モデルナ)

の若年男性 2 回目接種後に起こる心筋炎、特に10代20代ではファイザーよりモデルナが多いので、1 回目にモデルナを打った人も、希望により 2 回目はファイザーに変更できる

- ・ウイルスベクターワクチン(アストラゼネカ)の特に若年者に起こる血栓症(故に、わが国では通常40歳以上に接種する)

⑦その他の副反応として、アナフィラキシー、血管迷走神経反射

⑧子どもへのワクチン接種の考え方と副反応への

対処法について、答えは1つではないが・・・小児においても大人と変わらない有効性あり、変異株の出現により感染の機会が増え、MIS-C という重篤な病態を防ぐためにもワクチン接種が推奨されるが、子どもは副反応などについて自分で判断、理解できないことがあるので、大人が子どもと十分リスクコミュニケーションをとって、接種時期を決め、副反応の観察をしっかりしていくことが大切。

令和3年度 第52回全国学校保健学校医大会 in 岡山

第5分科会「眼科」報告

京都府医師会・京都府眼科医会 嶋元孝純

とき 令和3年10月30日土曜日

ところ WEB開催

5 当院における過去5年間の小児の後天性内斜視について (岡山県医師会 古瀬 尚)

1. はじめに

日本医師会主催の本大会は第52回を迎え、「明るく強く、育むために～コロナや災害に取り組む医療～」をテーマに掲げ、岡山県医師会により完全WEB形式で開催されました。内科、整形外科(注；今年から整形外科分科会が新たに設けられた)、耳鼻咽喉科など他の分科会が8～10題に対し「眼科」は5題と今年は少なめでした。内容はデジタル機器使用に関する目の健康への配慮や注意について2題、屈折異常について2題、後天性内斜視について1題でした。以下に演題名と要旨を示します。詳細は日本眼科医会ホームページに抄録が掲載されます。なお京都府医師会から柏井真理子先生が発表されました。

2. 演題名と要旨

- 1 GIGAスクール構想と色のバリアフリー
(京都府医師会 柏井 真理子)
- 2 デジタル教科書の活用と子どもの眼や体の健康
(神奈川県医師会 宇津見 義一)
- 3 視力受診勧奨者の屈折等に関する調査報告
(大阪府医師会 宮浦 徹)
- 4 江戸川区における学校での視力検査結果の推移
(東京都医師会 田中 寧)

演題1はGlobal and Innovative Gateway for All (以下GIGA) スクール構想において、眼科的配慮事項は、近視の進行抑制に注意すべきであるが、色のバリアフリーへの啓発推進にも引き続き尽力すべきであるとする講演。

演題2は Information and Communication Technology (以下ICT) の活用に関して以下のような最近の知見について講演。

小児のブルーライトカット眼鏡装用に対する慎重意見

目とデジタル端末との距離は30cm以上離す
デジタル端末の使用時間や近視になりやすい要因
30分に1回は20秒以上画面から目を離し遠方を見る

演題3は学校の視力検査結果により受診勧奨された児童、生徒3,208名の視力検査結果と屈折検査結果についての後向き研究。全体の視力検査結果はA13.6%、B14.6%、C30.2%、D41.6%。Dは幼稚園0%、小学校34.2%、中学校53.7%、高等学校59.4%。全体の屈折検査結果は近視83.1%、正視7.4%、遠視9.5%。近視全体では軽度近視(<3D) 77.7%、中等度近視(3D ≤ かつ < 6D) 18.9%、強

度近視(≥ 6D) 3.4%。強度近視は幼稚園0%、小学校1.3%、中学校5.9%、高等学校8.3%。校種別の近視の割合は幼稚園25.0%、小学校78.4%、中学校91.4%、高等学校95.3%。この結果を令和元年度文部科学省統計調査(視力1.0未満の者の割合)に照らし合わせることで、全体の近視の割合を幼稚園6.5%、小学校27.1%、中学校52.6%、高等学校64.4%と推定した。

演題4は東京都江戸川区立小学校69校、同中学校33校での視力検査結果(370方式)の後向き研究。裸眼視力1.0未満の割合を調べた結果、学校別では小学校より中学校が多く、男女別では男子より女子が悪く、学年別では学年が上がるにつれ増加し、入学年度別では学年が上がることも増加した。

演題5は複視の自覚があり後天性内斜視と診断された68名の年齢と屈折値、年齢と視力、矯正器具の使用頻度と屈折値などの後向き研究。年齢が高いほど近視が強くなり、年齢が低いほど遠見、近見斜視角が大きく、矯正器具未使用者で屈折値が軽かった。低年齢の近視の者は矯正器具未使用者が多く、近業の際に過剰な輻輳反応が誘発されやすく、低年齢ほど斜視角が大きい結果になったことが示唆された。

3. 最後に

本大会に参加する機会をいただきありがとうございました。GIGAスクール構想に関連して、文部科学省から「学習者用デジタル教科書の効果的な活用のあり方等に関するガイドライン」や「児童生徒の健康に留意してICTを活用するためのガイドブック」が発行されており、日本眼科医会から「学校における色のバリアフリー」や「眼科学校医が知っておくべき25のポイント」が発行されています。これらにもう一度目を通し、児童・生徒、保護者に学校保健委員会等を活用して、地道に啓発活動をする必要があります。

学校における色のバリアフリー
(日本眼科医会)



学習者用デジタル教科書の効果的な活用のあり方等に関するガイドライン
(文部科学省)



児童生徒の健康に留意してICTを活用するためのガイドブック
(文部科学省)



眼科学校医が知っておくべき25のポイント
(日本眼科医会)



第 8 回 常任理事会

令和4年1月8日 於 事務局

出席者 杉本会長、井本・山内副会長、安野専務理事、大久保・川勝・中嶋・西村・林各常任理事、嶋元眼科学校医会理事、鈴木耳鼻咽喉科専門医会理事、奥村議長、長村・東道監事

・会長挨拶

<報告事項>

1. ツベルクリン反応検査

接種 12 / 7、判定 12 / 9

於：京都市教育委員会 体育健康教育室 大久保

接種 12 / 13、判定 12 / 15

於：京都市総合教育センター 山内、長村

2. 精神衛生研究会 12 / 9

3. 令和3年度 京都市学校保健会 健康教育シンポジウム 12 / 15 ~ 1 / 31 杉本

4. 奥村正治先生、鈴木由一先生顧問就任顧問の学校医会行事出務について

5. コロナ感染報告

6. 新任理事について

7. その他

<協議事項>

1. 児童生徒等の月経随伴症状等の早期発見及び保健指導等の実施について
2. 学校欠席者感染情報システムについて
3. 学校医勇退（75歳定年退職）に伴う後任決定までの流れについて
4. 俵 良裕 中京東支部長が12月26日ご逝去について後任支部長、銅駝美工高・高倉小の後任校医推薦について
5. 学校医配置について（左京支部 静原小と市原野小の統合で複数配置解消、北総合支援学校後任校医等）
6. 総会資料について
7. その他

<関連学会・各種協議>

1. 色覚相談 1 / 11、1 / 18、1 / 25、2 / 1、待機者3名
2. 精神衛生研究会 1 / 13 14:00～
3. 第70回近畿医師会連合学校医研究協議会総会 1 / 23
4. 第9回常任理事会 2 / 5
5. 大文字駅伝代替大会1000m記録会 2 / 6
9～16時 たけびしスタジアム京都
杉本、安野
6. その他

第 9 回 常任理事会

令和4年2月5日 於 事務局

出席者 杉本会長、井本・山内副会長、安野専務理事、大久保・川勝・中嶋・西村・林各常任理事、嶋元眼科学校医会理事、鈴木・平杉耳鼻咽喉科専門医会理事、奥村議長、長村・東道監事

会長挨拶

<報告事項>

1. 色覚相談 1 / 11 1名、1 / 18 2名、
1 / 25 1名、2 / 1 1名
2. 精神衛生研究会 1 / 13
3. 第70回近畿医師会連合学校医研究協議会総会
1 / 23 杉本
4. 第36回 京都市小学校「大文字駅伝」大会
代替大会 2 / 6 中止
5. 中京東支部長 林 治材先生就任
6. その他

<協議事項>

1. 学校におけるコロナ対応について
2. 学級閉鎖対応・4月からの健診対応
3. 新型コロナウイルス抗原簡易キットの有効活用について

4. 新任校医研修会の進行について
5. 総会お土産（丹波焼）について
6. 総会資料について
7. その他
事務員の給与について

<関連学会・各種協議>

1. 色覚相談 2 / 8、2 / 15、2 / 22、3 / 1
2. 腎臓相談 2 / 8 14:30～1名
川勝、井本、長村、西田先生
3. 京都府医師会 2 / 9 学校医研修会
14:00～15:30
4. 精神衛生研究会 2 / 17 14:00～
5. 第10回常任理事会 3 / 5
6. その他